

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
機械システム工学科	1年	後期	2	必修	宮本 泰行	機械製作実習	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)機械材料製造企業における勤務経験を有するパステル工房スタッフの協力を得て行う授業
機械システム工学科	2年	前期	2	必修	真田 和昭	材料学基礎	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目である。)企業での研究・開発関連の実務に携わった経験を活かした講義を実施する。
機械システム工学科	3年	前期	2	選択	宮本 泰行	インターンシップA(機械)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は、約2週間、企業において実践的な職場体験をする。
機械システム工学科	3年	前期	1	選択	宮本 泰行	インターンシップB(機械)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約1週間、企業において実践的な職場体験をする。
機械システム工学科	3年	前期	2	選択	真田 和昭	複合材料工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目である。)企業での研究・開発関連の実務に携わった経験を活かした講義を実施する。
機械システム工学科	3年	後期	2	選択	坂村 芳孝	航空機概論	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)航空機製造企業における勤務経験(戸田客員教授)を活かした授業
機械システム工学科	3年	後期	2	必修	真田 和昭	技術者倫理(機械)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目である。)企業での研究・開発関連の実務に携わった経験を活かした講義を実施する。
機械システム工学科	4年	前期	2	必修	真田 和昭	機械システム工学特別講義	この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目、または主として実践的教育から構成される(企業等から講師を招いて行う)授業科目です。

機械システム工学科 単位計 15

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
知能ロボット工学科	1年	後期	2	選択	伊東 聡	工業力学及び演習(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目である。)企業での開発関連の実務に携わった経験を活かした講義を実施する。 ※令和7(2025)年度より開講
知能ロボット工学科	2年	後期	2	選択	前田 幸男	材料加工学(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目です。) 総合電機製造関連企業等で生産技術の研究開発に携わった経験を活かした授業
知能ロボット工学科	2年	後期	2	選択	増田 寛之	ロボット制御工学(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目である。)企業での開発関連の実務に携わった経験を活かした講義を実施する。
知能ロボット工学科	2年	後期	2	選択	松本 公久	知能ロボット工学特別講義1(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)学外の各種研究機関の研究者や企業人を招いたオムニバス形式の授業である。
知能ロボット工学科	3年	前期	2	必修	前田 幸男	技術者倫理(知能)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目です。) 総合電機製造関連企業等で生産技術の研究開発に携わった経験を活かした授業
知能ロボット工学科	3年	前期	2	必修	塚越 拓哉	知能ロボット工学実験1	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。) 自動車・電機関連企業で技術開発に携わった経験を活かした実験
知能ロボット工学科	3年	前期	2	選択	本吉 達郎	知能ロボット工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)企業でのロボット開発関連の実務に携わった経験を活かした講義を実施する。
知能ロボット工学科	3年	前期	2	選択	モクタリ パーハム	インターンシップA(知能)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)学生は約2週間、企業において実践的な職場体験をする。

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
知能ロボット工学科	3年	前期	1	選択	モクタリ パーハム	インターンシップB(知能)	(この授業科目は実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約1週間、企業において実践的な職場体験をする。
知能ロボット工学科	3年	後期	2	選択	増田 寛之	ロボット創造演習	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)ロボットの設計、製作、稼働試験などのロボット開発の一連の開発を実践する。
知能ロボット工学科	3年	後期	2	必修	野田 堅太郎	知能ロボット工学実験2	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)電機・電子機器関連企業における勤務経験を活かした実験
知能ロボット工学科	3年	前期	2	選択	前田 幸男	マイクロ・ナノ加工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目です。)総合電機製造関連企業等で生産技術の研究開発に携わった経験を活かした授業
知能ロボット工学科	3年	後期	2	選択	松本 公久	企業経営概論(知能)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)企業などで活躍されている方々を講師として招聘した授業である。
知能ロボット工学科	3年	後期	2	選択	松本 公久	知能ロボット工学特別講義2	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)富山県機電工業会の会員企業から、ものづくりの第一線で活躍する技術者を講師として招聘した授業である。
知能ロボット工学科	4年	通年	8	必修	小柳 健一	卒業研究	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)研究テーマに応じて、知能ロボット工学に関連する企業等で技術開発に携わった経験を生かした指導や、学外各種研究機関の研究者や企業人からの協力や助言を受けながら行われる。

知能ロボット工学科 単位計 33

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当学年	開講学期	単位数	単位区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
電気電子工学科	1年	前期	2	必修	石坂 圭吾	電気電子工学概論	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業などで活躍されている方々を講師として招聘した授業である。
電気電子工学科	1年	前期	2	選択	小島 千昭	確率・統計学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)企業等で技術開発に携わった経験を活かした授業である。
電気電子工学科	2年	前期	2	選択	清水 直	計測工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)電力関係の企業等で物性計測技術開発に携わった経験を活かした授業である。
電気電子工学科	2年	前期	2	選択	畠山 哲夫	電子物性	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業等で技術開発に携わった経験を活かした授業
電気電子工学科	2年	後期	2	選択	高屋 智久	光波工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)農業工学系企業で光計測技術開発に携わった経験を活かした授業
電気電子工学科	2年	後期	2	必修	吉河 武文	電子回路1	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)企業等で技術開発に携わった経験を活かした授業である。
電気電子工学科	2年	後期	2	必修	岡本 大	半導体基礎	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)国立研究機関(産業技術総合研究所)で技術開発に携わった経験を活かした授業である。
電気電子工学科	3年	前期	2	選択	岡本 大	半導体素子工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。)国立研究機関(産業技術総合研究所)で技術開発に携わった経験を活かした授業である。
電気電子工学科	3年	前期	2	選択	石坂 圭吾	企業経営概論(電気電子)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業などで活躍されている方々を講師として招聘した授業である。

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
電気電子工学科	3年	前期	2	選択	吉河 武文	電子回路2	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。) 企業等で技術開発に携わった経験を活かした授業である。
電気電子工学科	3年	前期	2	選択	畠山 哲夫	インターンシップA(電気電子)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)
電気電子工学科	3年	前期	1	選択	畠山 哲夫	インターンシップB(電気電子)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)
電気電子工学科	3年	後期	2	必修	吉河 武文	技術者倫理(電気電子)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業等で技術開発に携わった経験を活かした授業
電気電子工学科	3年	後期	2	選択	清水 直	材料分析法	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目である。) 電力関係の企業等で物性計測技術開発に携わった経験を活かした授業である。

電気電子工学科 単位計 27

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
情報システム工学科	2年	前期	2	選択	鳥山 朋二	論理回路基礎(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)システム構築関連 企業でシステムの技術開発に携わった経験を活かした授業
情報システム工学科	2年	後期	2	選択	岩本 健嗣	プログラミング3(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。) 通信関連企業で技術開発に携わった経験を活かした授業
情報システム工学科	2年	後期	1	選択	岩本 健嗣	プログラミング演習3(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。) 通信関連企業等で技術開発に携わった経験を活かした授業
情報システム工学科	2年	後期	2	選択	鳥山 朋二	コンピュータネットワーク(再履修)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。) システム構築関連 企業でネットワーク装置の技術開発に携わった経験を活かした授業
情報システム工学科	3年	前期	2	選択	大倉 裕貴	企業経営概論(情報システム)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業などで活躍されている方々を講師として招聘した授業である。
情報システム工学科	3年	前期	2	選択	鳥山 朋二	論理回路応用	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)システム構築関連企業でデジタルシステムの技術開発に携わった経験を活かした授業
情報システム工学科	3年	後期	2	選択	岩本 健嗣	オペレーティングシステム	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。) 通信関連企業で技術開発に携わった経験を活かした授業
情報システム工学科	3年	後期	2	必修	前田 幸男	技術者倫理(情報システム)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)総合電機製造関連企業等で生産技術の研究開発に携わった経験を活かした授業。

情報システム工学科 単位計 15

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当学年	開講学期	単位数	単位区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
環境・社会基盤工学科	1年	後期	2	選択	立田 真文	資源循環工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)環境・資源循環・廃棄物処理の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	2年	前期	2	選択	伊藤 始	環境材料学(環境)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)建設関連企業でコンクリートの実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	2年	前期	2	必修	古谷 元	土質力学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業等で調査・解析業務の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	2年	後期	1	選択	立田 真文	資源循環工学実験実習	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)環境・資源循環・廃棄物処理の実務に携わった経験を活かした実習
環境・社会基盤工学科	2年	後期	2	選択	内田 慎哉	構造力学2	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業で社会基盤施設の施工の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	2年	後期	1.5	選択	伊藤 始	構造設計学及び演習	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)建設関連企業で設計支援の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	3年	前期	2	選択	内田 慎哉	社会基盤メンテナンス工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業で社会基盤施設の施工の実務に携わった経験を活かした授業 学外各種研究機関の研究者や企業人を招いて行う実践的な授業
環境・社会基盤工学科	3年	前期	1	選択	古谷 元	環境材料実験	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)建設関連企業でコンクリートの実務に携わった経験を活かした授業、企業等で調査・試験業務の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	3年	前期	2	選択	星川 圭介	インターンシップA (環境・社会基盤)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は、約2週間、企業において実践的な職場体験をする。

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
環境・社会基盤工学科	3年	前期	1	選択	星川 圭介	インターンシップB (環境・社会基盤)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約1週間、企業において実践的な職場体験をする。
環境・社会基盤工学科	3年	後期	2	選択	古谷 元	土木施工管理	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業等で工程管理業務の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	3年	後期	1	選択	伊藤 始	構造設計演習	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)建設関連企業で設計支援の実務に携わった経験を活かした授業
環境・社会基盤工学科	3年	後期	2	選択	黒田 啓介	企業経営概論(環境)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業等から講師を招いて行う。

環境・社会基盤工学科 単位計 21.5

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
生物工学科	2年	後期	2	選択	野村 泰治	植物工学2	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)米国植物科学研究所での生薬有効成分の生合成酵素に関する研究の実務経験を活かした授業を行う。
生物工学科	2年	後期	2	選択	加藤 康夫	生化学3	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業(新日本製鐵(株))での酵素応用および創薬に関する研究の実務経験を活かした授業を行う。
生物工学科	3年	前期	2	選択	野村 泰治	植物代謝工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)米国植物科学研究所での生薬有効成分の生合成酵素に関する研究の実務経験を活かした授業を行う。
生物工学科	3年	前期	2	必修	竹内 勝信	技術者倫理(生物)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業等から講師を招いて行う。
生物工学科	3年	前期	2	選択	鎌倉 昌樹	食品生理学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業(ポーラ化成工業株式会社)での肌科学に関する研究の実務経験を活かした授業を行う。
生物工学科	3年	前期	2	選択	野村 泰治	インターンシップA(生物)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約2週間、企業において実践的な職場体験をする。
生物工学科	3年	前期	1	選択	野村 泰治	インターンシップB(生物)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約1週間、企業において実践的な職場体験をする。
生物工学科	3年	後期	2	選択	奥 直也	生体高分子化学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)飲料メーカーでの食品成分に関する研究の実務経験を活かした授業を行う。
生物工学科	3年	後期	2	選択	加藤 康夫	酵素有機化学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)企業(新日本製鐵株式会社)で創薬に関する研究の実務経験を活かした授業を行う

生物工学科 単位計 17

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
医薬品工学科	2年	前期	2	選択	長井 良憲	病原微生物学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)医師として感染症の診療に携わった経験を活かした授業
医薬品工学科	2年	前期	2	必修	大坂 一生	分析化学1	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)化学分析業務や分析機器保守を行う技術系職員の経験をいかした講義
医薬品工学科	2年	後期	2	選択	大坂 一生	物理化学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)化学分析業務や分析機器保守を行う技術系職員の経験をいかした講義
医薬品工学科	2年	後期	1	必修	大坂 一生	医薬品工学実験1	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)化学分析業務や分析機器保守を行う技術系職員の経験をいかした実習
医薬品工学科	2年	後期	2	選択	長井 良憲	免疫学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)医師として免疫異常疾患の診療に携わった経験を活かした授業
医薬品工学科	2年	後期	2	選択	竹井 敏	医薬品材料工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)化学関連企業における勤務経験を活かした授業
医薬品工学科	3年	前期	2	選択	村上 達也	製剤工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)製薬関連企業における勤務経験を活かした授業
医薬品工学科	3年	前期	1	必修	村上 達也	医薬品工学実験3	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)製薬(村上)、化学(竹井)関連企業における勤務経験を活かした実験
医薬品工学科	3年	前期	1	必修	長井 良憲	医薬品工学実験5	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)医師として診療に携わった経験を活かした実験

富山県立大学 実務経験のある教員による授業科目

学科	配当 学年	開講 学期	単位数	単位 区分	代表教員名	講義名称	履修上の注意事項や学習上の助言
医薬品工学科	3年	前期	1	必修	米田 英伸	医薬品工学実験7	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)製薬・化学関連企業に勤務、あるいは医師としての診療経験を活かした実験
医薬品工学科	3年	前期	1	選択	村上 達也	生化学演習	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)製薬関連企業における勤務経験を活かした演習
医薬品工学科	3年	前期	2	必修	竹井 敏	技術者倫理(医薬)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)化学関連企業における勤務経験を活かした授業
医薬品工学科	3年	前期	2	選択	米田 英伸	インターンシップA(医薬品)	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約2週間、企業において実践的な職場体験をする。
医薬品工学科	3年	前期	1	選択	米田 英伸	インターンシップB(医薬品)	(この授業科目は、実務経験ある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)学生は約1週間、企業において実践的な職場体験をする。
医薬品工学科	3年	後期	2	選択	村上 達也	薬物送達学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)製薬関連企業における勤務経験を活かした授業
医薬品工学科	3年	後期	2	選択	長井 良憲	再生医療工学	(この授業科目は、実務経験のある教員による授業科目または主として実践的教育から構成される授業科目です。)医師として難治性疾患の診療に携わった経験を活かした授業

医薬品工学科 単位計 26